

この会は、「憲法9条を変えてはいけない」の一点で、あらゆる立場や考え方、世代の違いを越えて多くの人と共同し、九条を活かした平和のための活動を行う会です。みなさんの賛同、ご支援をお願いします。

窓の外は雪、爽やかなフルートの音色



新春にふさわしく窓の外は雪、清らかなフルートの音色にのって、懐かしい曲の数々が流れました。地域の福祉施設を廻って、フルート演奏のボランティア活動が続けられている演奏者の西本さん。優しく親しみや

い口調での曲に込められたエピソードの紹介、心に沁みわたるフルートの演奏、そしてみんなで楽しく合唱した“かあさんの歌”など「とてもすばらしかった。感動をありがとう」といった10通を超える参加者からの感想をいただきました。

魅力溢れるお話の数々



岐阜大学で教鞭をとられる立石先生、この日の講演のテーマは「憲法にみる男女平等」。《新憲法草案の策定にあたって、天皇制と共に国の統治の役割を担った旧家制度を廃し、「個人の尊厳」と「両性の本質的平等」を謳った24条の実現に努力したベアテ・シロタ氏の解説》、「個人の尊厳」の実現にはあらゆる暴力を否定する必要があり、家庭内の暴力は24条、国家の暴力は9条によって否定される》等々、新鮮で奥深いお話の数々を、とても平易に明快な論旨でお話になり、瞬間の時間でした。

ここでも沢山の感想を頂きました。 *奥深いお話で短時間では勿体ない。 *暴力はなぜ悪い？ 相手を支配することになる。納得。 *個人の尊厳を基本に頑張りたい。 *美しく声量あり歯切れよいお話が分り易い。 *解説も説得力があり明確でよかった。 *大変良いしげきになり、学生になったようにメモを取った。 *いろいろ勉強になりました。有難う。立石さん素敵です。

1月30日、「新春のつどい」が日野公民館で開催されました。この日は、朝からの雪であたり一面の銀世界、降りしきる雪の中、次々に地域の人たちが訪れ、50名程が参加される盛況な催しとなりました。美しい雪景色の中、西本直子さんの奏でる清らかなフルートの音色が心に沁みわたったり、凛とした口調と明快な論旨で、憲法にみる「個人の尊厳と両性の平等」を語られる岐阜大学の立石直子先生に引き込まれ、参加した人々には、とても充実した一時となりました。

新春のつどい
雪の中、大勢の人が参加

雪の降る中、新春のつどい風景



休憩時間に展示パネルを
閲覧したり、歓談する参加者

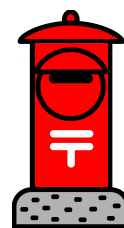




寄稿

新春のつどいから

私が私らしくあるために



「個人の尊厳とは何ですか？」との質問に、「《私が支配を受けず、私らしくあること》と思っています」と即座に答えられた立石先生。 雪の降りしきる「新春のつどい」に参加し、とても新鮮な刺激を受けました。

そして頭をよぎったのは、数日前に新聞で読んだ「東京の高校の先生が、入学式や卒業式に日の丸への起立や君が代の斉唱の義務の無いことの確認を求めた訴訟で、東京高裁が一審判決を取り消し、請求を退けた」という記事でした。「個人の自由や尊厳は、憲法の11条、13条、19条で保障されているのではないか?」、「高校という学問・教育の場で、関係のない国旗や国歌が強制され、自分らしくあろうとした先生がなぜ処罰されるのか?」と次々に疑問がわいてきます。

そして、あのスイスの英雄ウィリアム・テルのお話まで浮かんできます。「支配者の帽子におじぎをしなかったことで、命と引き換えに息子の頭にリンゴを乗せ、弓で射抜くよう神聖ローマ帝国ハプスブルグ家の代官ゲスラーに命ぜられたテル」のお話。「権威の象徴を振りかざし、個人の尊厳や多様性を否定して、強制を迫る」、同じようなお話ではないかと思います。

立石先生は、「日本は明治憲法の下、国のレベルでは天皇制、家庭の中では家族制度が強化され、個人の自由・平等・尊厳が認められなかった」、「旧い家制度の否定と解体のため、今の憲法14条・24条で個人の尊厳、両性の本質的平等の理念を取り入れる努力がなされた」と解説されました。こうした憲法、個人の尊重の理念の根幹をなす三大原則、「平和主義、国民主権、基本的人権の尊重」を軽視し、曲げ、変えようとする公的機関の最近の動きについて、私は心配でしかたありません。

今まで九条の会で学んだ「“権力は暴走するもの”という歴史的教訓（日本が戦争に突き進んだ戦前の例）から、国民が国に対し守るよう約束させたのが憲法（立憲主義）」などを思い起こしながら、12条にあるように、憲法を育み、支えていくのは、国民一人一人の不断努力なんだと気がつきました。それにしても、今の社会で《私が私らしく生きること》って、そんなにむつかしくて大変なことなんでしょうか。

(日野風来坊)



日野で署名のお願い 長森日野九条の会 賛同者が850名に

1月22日（土）日野公民館の近くの100軒ほどのお宅を訪問し、賛同の署名と「新春のつどい」への参加をお願いして回りました。皆さんとても親切で、新たに50名の賛同が得られました。



1月19日、雪の中、今年初の長森駅前パネル活動でした。

朝の通勤通学の人たちにリーフを手渡す。

